

第65回 総会のご案内

新緑が目にしみる頃となり、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

早いもので楽しく盛り上がった新年会から半年が過ぎようとしております。郷里より来賓をお招きして第65回総会を下記の通り開催いたします。

例年のように9月に記念行事を迎える同級会の地元の皆さまもお誘いしています。世代を越えて片貝もんどうし会話の輪が広がることでしょう。

皆様お誘い合わせの上、多数のご参加を心よりお待ちしております。

～第65回 東京片貝会総会 開催要領～

日時 令和6年6月30日(日)

午後1時～午後4時

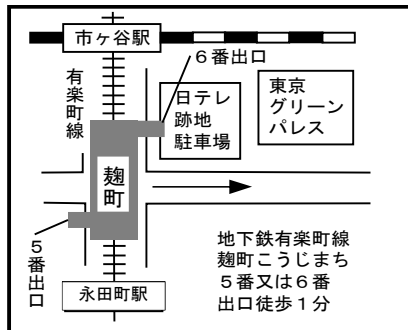
(正午より受付)

会場 東京グリーンパレス

東京都千代田区二番町2

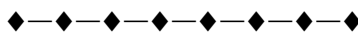
03-5210-4640

会費 1万円(諸経費増加からやむなく改定でお願いします)



出欠はこの会報に同封の返信用ハガキにて6月7日(金)までに到着するようご返信をお願いします。

総会についてのお問合せ先
050-3552-9801 (会長 安達亮一)
ryoichi.adachi@tokyo-katakaikai.net



■納涼会も開催します■

ご好評いただき今年も企画します。当日飛び入り参加も歓迎です。

日時 令和6年7月20日(土)

午後5時より

会場 吉池食堂(御徒町・吉池9階)
(「片貝納涼会」で予約)

問合せ news@tokyo-katakaikai.net

090-8558-1262(徳永)

■片貝館がオープン■



本田書店だった二之町の建物が装いも新たに4月17日に「片貝館」として開業しました。片貝花火むすめ(107号2面参照)オフィシャルグッズほか片貝の逸品の販売、花火の疑似体験、集いの場と町の新たな顔となりそうです。

会員短信

- ・車イス生活ではありますが、施設内で元気に過ごしております。(長男代筆) 中島イツ(17)
- ・趣味のコーラス、平均年齢は78才位でしょうか。松岡規子(27)
- ・去年は久しぶりに片貝祭に娘家族と同行し、お墓参りと供養花火を奉納しました。吉原武夫(28)
- ・市のお囃子の会で、秋田大黒舞を披露します。大矢佐知子(31)
- ・スポーツジムに通いエアロビクスやヨガなどのスタジオレッスンを楽しんでおります。本田秀幸(37)
- ・孫3人と共に新年を迎えました。週2日市ヶ谷の大学で受付警備などしております。松井正之(46)

会の動き

理事会 2023/12/17

於 新潟県人会館
安達会長以下12名

・会報発送

新年会 2024/1/28

於 御徒町・吉池食堂
会員35名参加

理事会 2024/4/14

於 新潟県人会館
安達会長以下9名

・総会開催要領について討議

LINE グループ

「なじらね片貝」

最新情報をスマホに
お届けします



◀こちらのLINEアカウント(理事の友田啓(あきら)さん)まで氏名と「なじらね片貝参加希望」を添えて参加者現在51名です

新年会 4年ぶりの笑顔

1月28日 吉池食堂

令和2年以来4年ぶりの新年会を開きました。場所は御徒町駅近くの吉池食堂で、会員35名が集まりました。

会の冒頭で安達亮一会长が挨拶を行い、今年の東京片貝会は、コロナ禍以前の活動を行うことを報告しました。なお今年から片貝まつりは、9月の



第2土曜日とその前日の金曜日になるので今年は13・14日になる事をお伝えしました。

ほどよい広さの会場で、久しぶりの会話を皆様を楽しみました。

【会員出席者】(敬称略)
(昭和26~39年)

溝手俊一、荒木ムツ、佐藤祐一、松岡規子、黒崎勝、藤塚悟、安達弘、五十嵐哲郎、工藤イツ、黒崎正雄、小宮三郎、芝文夫、山家恵美子、佐藤篤司、本田秀幸、松井京子、小野塚和夫、芝強

(昭和40年~)
相崎俊夫、安達徹、阿部清、小林和弘、安達裕子、安達亮一、早川芳枝、藤塚伸雄、目黒栄、徳永隆浩、松山朱実、堀井ひとみ、吉田貴裕、友田啓、浅田友則、飯尾真由美、白石知子

会員の皆さまからの会費をはじめ寄付などのご厚意により本会は運営されています。どうぞ皆さまのご協力ご支援をよろしくお願ひします。

【東京片貝会へご寄付】(令和5年11月~令和6年3月)

下記の方々から会へのご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。(敬称略)
溝手俊一(26)、荒木ムツ(27)、安達隆(28)、野崎真知子(29)、大塚國夫(31)、藤塚悟、平石知子(31)、加藤素子(32)、安達弘(33)、五十嵐哲郎、工藤イツ、芝文夫(35)、木村隆(36)、田川鈴子、本田秀幸、松井京子(37)、小野塚和夫、芝強(38)、相崎俊夫(40)、安達徹、阿部清、小林和弘(41)、安達亮一(42)、内藤富美子(43)、藤塚伸雄(48)、目黒栄(49)、徳永隆浩(52)、松山朱実(53)、堀井ひとみ(54)、吉田貴裕(56)、相崎清輝(57)、友田啓(58)、浅田友則、白石知子(60)

池田屋 惜しまれつつ閉店

羊羹や花火をかたどった和菓子で長らく親しまれてきた本丸池田屋が、3月23日をもって一之町の店舗を閉店した。長野県安曇野市に店舗兼工場を移転しネットで商品の多くを今後も販売予定。

昨年の夏から白石知子さんに続く輝友会(第41回卒業)二人目の理事を務めさせて頂いております浅田友則です。

高校を卒業して上京して以来、仕事中心の生活でしたが、先輩理事の白石さんが、異郷に住む同級生のために片貝の情報を定期的に共有してくれており、故郷への懐かしさを感じるとともにその白石さんの誘いで昨夏の納涼会に参加したのがきっかけで理事を拝命した次第です。

さて、自分のこころを整理し、活力に繋げる趣味として「御朱印」をマイペースで集めています。きっかけは急勾配で有名な「出世の石段」で祭祀が斎行されていた虎ノ門の愛宕神社を参拝することで何か特別なご縁を感じ、前向きな気持ちになりながら御朱印帳をここで求め最初の御朱印を飾っていただいたことです。その後、東京十社(明治天皇が明治元年に准勅祭神社として幣帛を捧げられ東京の鎮護と万民の平安を祈願されたお社)はじめいくつもの寺社を巡っています。

「御朱印」めぐりで自分ならではの思っているのは、東京23区

内の神社であれば自宅から歩いて目的地に向かうことをルールにしていることです。健康のためもありますが、目的地までの初めての道のりや風景、街並みの変化といった新しい発見を感じながら向かうことがとても楽しいからなのです。時には道中の美味しそうな店を見つけてはスマホで評判を検索しながら歩いています。そんな性格が我ながら仕事や家庭にもでているなと思っています。この東京片貝会の理事会が開催される御徒町にも何度か歩いて参加しています。

こんな私ですが、会の先輩の皆さんの優しさや片貝への熱い想いに感銘を受け、この新しい

繋がりに感謝しつつ、私にも参加する目標が出来ました。もっと若い方に東京片貝会を知って頂き参加してもらおうということ、この先こんな東京片貝会であつたらいいと考えられるようになることです。まだまだ新米で諸先輩から教えて頂くことばかりですが、よろしくお願ひします。

若え衆登場

輝友会 浅田友則

祝 4JA 合併



ますますの魚沼地域の
振興と発展を応援いたします
東京片貝会

祝 小千谷市政施行



我々の故郷がさらなる飛躍発展
することを祈念し応援いたします
東京片貝会



精密機械部品加工
株式会社 浅田精機

〒947-0101
新潟県小千谷市片貝町4481-4
☎ 0258-84-2911
FAX 0258-84-3855
http://www.asadaseiki.jp



“開発から量産までトータルソリューション”
精密金型製造・各種プレス加工

(株)山口製作所

小千谷市片貝町10245-1
TEL:0258-84-2308 FAX:0258-84-2080
URL http://www.yssmf.co.jp/

母校を励ます会 お知らせ

温かいご支援、ありがとうございます

1982年から始まったこの教育講演会がここまで継続されていることは、ふるさとを、母校を想う会員の皆さまの賜物です。毎年、母校を巣立っていく児童・生徒たちにとって、同じ学び舎で育んだ先輩たちの語り口は心強く感じてもらえることでしょう。今のような時代だからこそ共有し合い、共に育つことが大切なのではと思います。教育は共育でもありたいです。皆さまに感謝いたします。

= = = = =

【母校を励ます会基金ご協力者名】
(敬称略) (令和5年11月~令和6年3月)

大塚順一、山本文子(2)、溝手俊一(2)、藤塚文頭、荒木ムツ、佐藤祐一、松岡規子(2)、安達隆、吉原武夫、黒崎 勝(2)、野崎真知子、松本キイ、宮下愛子、横田房枝、吉井 均(2)、安達弘之(3)、宇野澤誠子、小野塚清、大塚國夫、藤塚 悟(3)、諸我時夫(2)、安達 弘(3)、熊谷正子、高波国男、五十嵐哲郎、工藤イツ(3)、木村 隆(3)、佐藤篤司、吉原敏明、本田秀幸、松井京子(7)、吉田邦男、芝 強、本田

利美、小野塚和夫(8)、植木房子(9)、相崎俊夫(40)、阿部 清、栗原知子、安達 徹(41)、安達亮一、勝又一司(42)、内藤富美子、藤塚 弘(43)、黒崎 修(45)、松井正之(46)、櫻井綾子、藤塚伸雄(48)、目黒栄(49)、徳永隆浩(52)、松山朱実(53)、堀井ひとみ(54)、山口昌幸、植松芳江(55)、吉田貴裕(56)、相崎清輝(57)、友田 啓(58)、白石知子、淺田友則(60)、名塚孝雄(11)、小椎尾ふゆか(13)

母校の動き

■先生方の人事異動

片貝小の木曾隆一校長先生がご定年となり、後任に長岡市教育委員会から大畑勝義校長先生が赴任された。木曾先生ありがとうございました。また、お祭りなどでお会いしましょう。大畑先生よろしくお願いします。

■4月1日現在の児童・生徒数

▽片貝小 = ①17、②29、③23、④22、⑤22、⑥36、計149(13減)
▽片貝中 = ①30、②28、③36、計94(3増) (○数字は学年、増減は令和5年5月1日比)

第42回教育講演会

開催(予定)のご案内

日時 10月11日(金)午後2時~
場所 片貝中学校校体育館
講師 五十嵐 貴子 様 (鴻巣町出身 平成会)

略歴 片貝中学校卒業後、小千谷高校 私立大学を卒業し、安田生命(現 明治安田生命)へ就職。マーケティング部にて投資信託販売新規企画に携わるも、妹さんの入院が契機となり医療の道を志して言語聴覚士の国家資格を取得し、武蔵野赤十字病院へ就職。失語症、外傷後の記憶障害、小児の構音障害のリハビリに携わる。現在も、公認心理士の国家資格をも取得し、脳の回復を目指すリハビリと、心のケアを必要とする患者さんに尽力。さらに、国際結婚をし、二児の母としても奮闘中。

講演概要 「人と人を繋ぐ言語聴覚士としての私と日本赤十字社の活動」

- ① 言語聴覚士の業務紹介 (皆さんも言語聴覚士になりきってみよう体験)
- ② 日本赤十字社の災害救助及び国際支援活動の紹介
- ③ 私を育ててくれたふるさとへの想いと仲間の大切さ
- ④ 未来へおぼたく皆さんへのメッセージ

片貝総合センターの『円筒埴輪』は語る (第2回) 寄稿 若杉会 山口石根さん

現在では土地造成の前に遺跡調査が行われるが、大正の頃には全く意識せずに工事が行われたと思われる。また古墳があったとしても、5~6世紀前半とみられる築造から千数百年を経過し、永年の風雪によってほとんど原形を留めていなかったのかもしれない。たまたま「心ある人」が完成品の円筒埴輪を見つけて新築された校舎に遺してくれたのだろう。これには大感謝!

ではこの古墳に葬られた人はどんな人物だったのか考えてみたい。

古墳に埋葬されたのは一般人ではあり得ず、当時の大和朝廷に認められた特別高貴な人物だけである。当時そのような高貴な人物が亡くなると朝廷から土師(はにし)と呼ばれた埴輪を造る専門技術集団が派遣され、場所の選定と設計、埴輪の製作や工事監督が行われた。埴輪が造営される場所は村人にとっての「王の墓」として常に仰ぎ見られるように高台の先端が選ばれた。

【以下 第3回(最終回)に続く】

かかりつけの電気屋

デジキのあだち

小千谷市片貝町 4508-15

(0258) 84-4011

http://www.denkinoadachi.com



有限会社

品田巧機

代表取締役 品田 靖宏

小千谷市片貝町沼田前 550-1

電話 0258-84-2850

https://www.shinada-kouki.co.jp

正解は越後製菓!



越後製菓株式会社

〒940-8622

新潟県長岡市呉服町1-4-5

TEL 0258-32-2358

https://www.echigoseika.co.jp/



レーザー加工
各種看板
ステッカー
デザイン
etc



ONOSOKU精工株式会社

企画室

TEL 0258-84-4010

小千谷市片貝町 10380-1

URL http://www.onozoo.com

ふるさと・は・今 令和5年11月より 令和6年4月まで

母校近況

■小学校 長井教頭先生

【創立150周年記念式典・祝賀会・もみのキッズ学びランド】

11月11日(土)に片貝小学校創立150周年記念式典を挙行了いたしました。

実行委員長式辞やご来賓の祝辞等の後に、子どもたちの出番がありました。横断幕とタペストリーの「記念制作作品お披露目」です



【写真】

それぞれの作品のできた経緯や作った意図を、6年生・5年生の代表児童が発表しました。そして、全校児童による記念合唱では、「この星に生まれて」を2部合唱で歌いました。1年生は「合唱・合奏・ダンス」、2年生は「クイズ・劇」、3年生は「合奏・合唱」、4年生は巫女爺をテーマにした「クイズ・劇」、5年生は「片貝伝統芸能の合奏・合唱」、6年生は片貝花火をテーマにした「劇」を発表しました。

もみのキッズ学びランドの後には、片貝総合センターにて記念祝賀会を行いました。記念映像やクイズ等を通して楽しい一時を過ごしました。

【六年生を送る会】

2月22日(木)に児童会主催の「六年生を送る会」が行われました。5年生が中心になって決めたスローガン「六年生 中学校に行っても かがやいてね!」のもと、それぞれの学年が、卒業生「かがやき学年」に感謝の気持ちと卒業おめでとうの気持ちを届けました。5年生の進行で、在校生からダンスやプレゼント渡し、くす玉披露などを行いました。また、職員からの出し物として、6年生との大縄対決をしました。それぞれの発表に対して、感謝の気持ちを込め、6年生がダンス発表とお礼の言葉でお返しをしました。それぞれの

学年にとって、いい思い出になりました。

■中学校 皆川教頭先生

1年生は片貝の伝統芸能である「木遣り」について、片貝伝統芸能保存会の方から「木遣り」の歴史などについて教えていただくとともに、歌い方についてもご指導いただきました。12月4日(月)には、ご指導いただいた片貝伝統芸能保存会の皆様の前で練習の成果を発表しました。

2年生は、3月10日(日)から12日(火)の2泊3日で関西方面(大阪、京都、奈良)への修学旅行を行いました。旅行先の関西地方について歴史・文化・産業等について事前に学習し、旅行先で感じたことや体験してきたことをこれまでの自分たちが住む地域の学習とつなげながら、旅先での学習成果を発表するためにまとめ活動を行っています。

3年生26名は3月4日(月)に第77回卒業生「昆陽会」として卒業



業しました【写真】。卒業式での卒業合唱や玄関で披露した「木遣り」は立派に成長した姿を示すとともに、後輩に伝統や思いを確かにつないでくれました。

そして、4月9日(火)「かがやき学年」30名の新入生を迎え、全校生徒94名で令和6年度がスタートしました。

町のできごと

■令和5年度「文芸おぢや」入賞

県内外からの応募、入賞が増える中、片貝町からも多くの作品が入賞した。(敬称略)

《短歌》▽佳作=佐藤裕子
《俳句》▽佳作=宮島さち子、佐藤富子
《川柳》▽特選=太刀川竹之

■中学生の税についての作文

「税を考える週間」恒例の中学生による「税についての作文」で

片貝中3年の吉田苺加さんが見事小千谷市長賞最優秀賞を受賞した。

■石黒忠^{ただのり}の遺品公開

明治時代の陸軍軍医総監で日本赤十字社の設立等に尽力し、その社長に就任した池津ゆかりの石黒忠の手紙や片貝時代に使ったとされる医療道具など大量の遺品の一部が初公開された。片貝町に住む子孫が市に寄贈したもの。

忠は江戸後期に現在の福島県で生まれ、若くして両親が亡くなり、親戚のあった池津の石黒家を継承し、八島の安達家の女性と結婚。その後、江戸で医学を学んだ。

■起業・創業へ座談会

カフェ NISCIRO の吉井さん語る

小千谷市の起業・創業支援の一環としてやりたいことの見つけ方、叶え方を学ぶ座談会がバイパス沿いにあるカフェ NISCIRO (ニシロ)で開かれた。講師の同カフェオーナーの吉井和樹さんは「コーヒーを通じて『人生の交差点』となるようなお店を開きたい」、「一杯のコーヒーで町の文化を繋げたい」という創業への思いやクラウドファンディング等について語り、参加者の質問に答えたり、アドバイスを送ったりした。

令和6年記念行事の同級生

(中学校卒業回)

- 20歳 桜華会 (第72回)
- 33歳 晴笑会 (第61回)
- 42歳 五十一会 (第51回)
- 50歳 平成会 (第43回)
- 還暦 さざなみ会 (第33回)

編集後記

4月なのに夏日になったり、雨が降り続いて急に肌寒くなったりと寒暖差が激しいこの頃ですがお変わりございませんか。

6月の総会で皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

広報担当 徳永・小林・
安達・相崎
news@tokyo-katakaikai.net



創刊 昭和38年
年2回(6・12月)刊

